

サマーレビュー2013 調書

1 部局名・区名(課名)	産業部 (農林業振興課)	2 優先順位	特命 1
3 事項名	林業施策について		
4 目的	森林・林業ビジョンに掲げる方針の一つである「森林産業の創出」の達成のため、従来の林業振興施策に加え、民間が計画する木質バイオマス発電事業への木材供給を可能とする施策を展開する。		
5 現状及び課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林・林業ビジョンの「売る林業」推進のため、住宅用材（A材・FSC材）を中心に約10万m³/年を生産。 採算が合わない未利用材が約5万m³/年（試算）が残置。 県が誘致を進める合板工場（富士市）向けに、合板用材（B・C材）1.8万m³の供給要請あり（西部地区）。 一方、木材相場低迷による自発的な出荷調整により、木材生産量は増加せず。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材生産量の増加による森林資源の循環利用の活発化。 低迷する住宅分野以外での、新たな木材活用方法の模索。 木材（未利用材を含む）の安定供給スキームの構築。 景気変動に左右されない、安定的な林業収入の確保。 		
6 事業概要	<p>【継続的施策の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「作業道開設⇒間伐作業の実施⇒間伐材搬出」への支援は、FSC森林を中心に継続的に行う。 「林業機械、林業施設整備」への支援は、国庫補助を有効活用し実施。 <p>【新たな施策の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマス発電事業の実現のため、燃料（未利用材）の安定供給に向けた誘導施策の構築。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林資源の循環利用により、森林環境や森林の多面的機能が向上。 未利用材の生産量増加が木材生産全体を刺激し、相乗的に全体生産量が増加に向かう。 		
7 関係法令等			
8 スケジュール(いつ、何をやるか)	<p>【H25～H27】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業可能性調査 木材生産側（森林組合等）との調整 未利用材搬出誘導等に係る検討・制度設計 <p>【H28～】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電事業、未利用材供給の開始（予定） 		
9 他都市等の参考事例	木質発電の分野では、福島県のグリーン発電会津が全国的に知られている。全国的には、今後30数基ほどが事業化を目指す。		
10 市長マニフェスト	<p style="text-align: center;">[該当] / 非該当（※いずれかに○）</p> <p style="text-align: center;">（マニフェストの一連NO. : 59）（※該当の場合記載）</p>		
11 過去のレビュー等での審議経過	なし(新規提案) あり その他	<p>具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産拠点整備後の天竜材の物流 公共、民間需要拡大に向けた販路拡大策 	

12 サマーレビューで審議、確認したい事項 (該当項目を□→■)	事業等の 新規提案 既存事業 の見直し その他	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;"> 具体的内容 </div> 林業振興施策の方向性として、FSC 材を核とした住宅用材生産に加え、未利用材の消費拡大が見込まれる木質バイオマス発電事業の施策を実施していく。
13 レビューの論点 (担当ヒアリングで確認、実施後記載)	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;"> 【協議事項】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の林業施策の本市の方向性について協議 ・ 木質バイオマス発電事業への木材利用振興について協議 	
14 サマーレビュー結果 (実施後記載。該当項目を□→■)	提案どおり進める 提案内容を一部見直しして進める 再度、調査研究等を行い検討 その他	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;"> 具体的内容 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐、搬出などのコストについて、他都市の状況と比較し、検討を行う。
15 その他		